

3-1 調査計画（施設野菜）

施設野菜の部 No.1

項目：品種特性調査

調査名：種子繁殖型いちご品種「よつぼし」の品種特性調査（継続：令和3年度～令和5年度）

1 目的 種子繁殖型いちご品種「よつぼし」について、収量・品質等の品種特性を調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス4号（132 m²：約40坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和4年5月14日（406穴セルトレイ）
 - 3) 移植月日 令和4年6月23日（10.5cmポット）
※406穴セルトレイ苗を購入、納品後直ちにポットに移植
 - 4) 夜冷処理期間 令和4年8月12日～9月8日
 - 5) 夜冷処理日数 28日
 - 6) 夜冷処理方法 短日処理 8時間日長（16時30分～翌8時30分遮光）
夜冷処理 13～15℃（16時30分～翌8時30分）
 - 7) 育苗日数 <1><2>118日、<3>136日
 - 8) 定植年月日 <1><2>令和4年9月9日、<3>令和4年9月27日
 - 9) 栽植距離 うね幅110cm、ベッド幅70cm、株間25cm、2条植え
 - 10) 定植株数 640株/棟
 - 11) 施肥量 N-P-K=追肥状況による
【基肥】有機アグレット816（8-1-6）
【追肥】大塚養液土耕6号（13.5-10-20）
 - 12) 使用資材 アヅミン（Mg:3%）：5kg/a、ハイフミン・ハイブリット：30kg/a、
 - 13) 収穫期間 あったかマルチ
 - 14) 保温 令和4年11月28日～令和5年6月中旬
 - 15) 加温 内カーテン：令和4年11月14日～令和5年5月上旬
温風暖房機（5℃設定）：
令和4年11月14日～令和5年5月上旬
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 3区（1区10株、1区制）
<1>夜冷短日処理区
<2>電照長日処理区（定植後2週間24時間日長処理）
<3>9月下旬定植区
 - 2) 供試品種 よつぼし（三重県・香川県・千葉県・農研機構）
- (4) 調査項目 生育、収量、品質

施設野菜の部 No.2

項目：品種特性調査

調査名：種子繁殖型いちご品種の品種特性調査（新規：令和4年度～令和5年度）

1 目的 新種子繁殖型いちご品種「すず」、「はるひ」について、収量・品質等の品種特性を調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス4号（132 m²：約40坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和4年5月14日（406穴セルトレイ）
 - 3) 移植月日 令和4年6月23日（10.5cmポット）
※406穴セルトレイ苗を購入、納品後直ちにポットに移植
 - 7) 育苗日数 136日
 - 8) 定植年月日 令和4年9月27日
 - 9) 栽植距離 うね幅110cm、ベッド幅70cm、株間25cm、2条植え
 - 10) 定植株数 640株/棟
 - 11) 施肥量 N-P-K=追肥状況による
【基肥】有機アグレット816（8-1-6）
【追肥】大塚養液土耕6号（13.5-10-20）
 - 12) 使用資材 アヅミン（Mg:3%）：5kg/a、ハイフミン・ハイブリット：30kg/a、
 - 13) 収穫期間 あったかマルチ
 - 14) 保温 令和4年12月26日～令和5年6月中旬
 - 15) 加温 内カーテン：令和4年11月14日～令和5年5月上旬
温風暖房機（5℃設定）：
令和4年11月14日～令和5年5月上旬
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 3区（1区10株、1区制）
 - 2) 供試品種 <1>すず（株ミヨシ・三重県）
<2>はるひ（株ミヨシ・三好アグリテック株）
<3>よつばし（三重県・香川県・千葉県・農研機構）
- (4) 調査項目 生育、収量、品質

施設野菜の部 No.3

項目：品種比較調査

調査名：トマトの促成栽培における品種比較調査（継続：令和4年度～令和6年度）

1 目的 トマトの促成栽培について品種比較調査をすることで、当地域に適した有望品種の選定を行う際の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室5号（165 m²：約50坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和4年12月28日（144穴トレイ）
 - 3) 移植月日 令和5年2月2日（12cmポット）
 - 4) 定植月日 令和5年2月27日
 - 5) 栽植距離 ベッド幅100cm、株間40cm、2条植え
 - 6) 定植株数 320株/棟
 - 7) 施肥量 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる）
【肥料】大塚養液土耕5号（12-20-20、～収穫前）
大塚養液土耕2号（14-8-25、収穫開始～）
 - 8) 使用資材 ハイフミンハイブリッドG（微生物資材）：30kg/a、
アヅミン（Mg:3%）：3kg/a、あったかマルチ、白黒ダブルマルチ
※夏季の地温抑制のため、うねの肩部にあったかマルチの上から白黒ダブルマルチを展開（6月下旬～収穫終了日）。
 - 9) 収穫期間 令和5年5月上旬～7月下旬
 - 10) 保温 内カーテン：令和5年2月27日～令和5年5月下旬
 - 11) 加温 温風暖房機（12℃設定）：令和5年2月27日～令和5年5月上旬
 - 12) 摘心 令和5年5月下旬（8段程度）
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 4区（1区10株、1区制）
 - 2) 供試品種<1> みそら64 (みかど協和(株))
<2> CF桃太郎はるか (タキイ種苗(株))
<3> 桃太郎ネクスト (タキイ種苗(株))
<4> 麗月 ((株)サカタのタネ)
- (4) 調査項目 生育、収量、糖度

施設野菜の部 No.4

項目：品種比較調査

調査名：トマトの夏秋栽培における品種比較調査（継続：令和4年度～令和6年度）

1 目的 トマトの夏秋栽培について品種比較調査をすることで、当地域に適した有望品種の選定を行う際の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室7号（165 m²：約50坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和5年2月28日（144穴トレイ）
 - 3) 移植月日 令和5年3月20日（12cmポット）
 - 4) 定植月日 令和5年4月13日
 - 5) 栽植距離 ベッド幅100cm、株間40cm、2条植え
 - 6) 定植株数 320株/棟
 - 7) 施肥量 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる）
【肥料】大塚養液土耕5号（12-20-20、～収穫前）
大塚養液土耕2号（14-8-25、収穫開始～）
 - 8) 使用資材 ハイフミンハイブリッドG（微生物資材）：30kg/a、
アヅミン（Mg:3%）：3kg/a、あったかマルチ、白黒ダブルマルチ
※夏季の地温抑制のため、うねの肩部にあったかマルチの上から白黒ダブルマルチを展開（6月下旬～収穫終了日）。
 - 9) 収穫期間 令和5年6月上旬～10月下旬
 - 10) 保温 内カーテン：定植日～令和5年5月下旬、9月中旬～収穫終了日
 - 11) 加温 温風暖房機（12℃設定）：定植日～令和5年5月上旬
 - 12) 摘心 令和5年9月中旬（20段程度）
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 5区（1区10株、1区制）
 - 2) 供試品種
 - <1> みそら64 (みかど協和(株))
 - <2> ひなた (みかど協和(株))
 - <3> 桃太郎ネクスト (タキイ種苗(株))
 - <4> りんか409 ((株)サカタのタネ)
 - <5> 麗月 ((株)サカタのタネ)
- (4) 調査項目 生育、収量、糖度

施設野菜の部 No.5

項目：品種比較調査

調査名：トマトの抑制栽培における品種比較調査（継続：令和4年度～令和6年度）

1 目的 トマトの抑制栽培について品種比較調査をすることで、当地域に適した有望品種の選定を行う際の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室5号（165 m²：約50坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和5年6月上旬（72穴トレイ）
 - 3) 定植月日 令和5年6月下旬
（前作の栽培中にその株間に定植）
 - 4) 栽植距離 ベッド幅120 cm、株間40 cm、2条植え
 - 5) 定植株数 320株/棟
 - 6) 施肥量 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる）
【肥料】大塚養液土耕5号（12-20-20、～収穫前）
大塚養液土耕2号（14-8-25、収穫開始～）
 - 7) 使用資材 あったかマルチ、白黒ダブルマルチ
※夏季の地温抑制のため、うねの肩部にあったかマルチの上から白黒ダブルマルチを展開（6月下旬～9月中旬）。
 - 8) 収穫期間 令和5年8月下旬～11月下旬
 - 9) 保温 内カーテン：9月中旬～収穫終了日
 - 10) 加温 温風暖房機（8℃設定）：11月上旬～収穫終了日
 - 11) 摘心 令和5年9月下旬（6段程度）
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 5区（1区10株、1区制）
 - 2) 供試品種
 - <1> みそら64 (みかど協和株)
 - <2> ひなた (みかど協和株)
 - <3> 桃太郎ネクスト (タキイ種苗株)
 - <4> りんか409 ((株)サカタのタネ)
 - <5> 麗月 ((株)サカタのタネ)
- (4) 調査項目 生育、収量、糖度

施設野菜の部 No.6

項目：品種比較調査

調査名：ミニトマトの促成栽培における品種比較調査（継続：令和4年度～令和6年度）

1 目的 ミニトマトの促成栽培について品種比較調査をすることで、当地域に適した有望品種の選定を行う際の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス2号（132 m²：約40坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和4年12月28日（144穴トレイ）
 - 3) 移植月日 令和5年2月2日（12cmポット）
 - 4) 定植月日 令和5年2月27日
 - 5) 栽植距離 ベッド幅100cm、株間40cm、2条植え
 - 6) 定植株数 228株/棟
 - 7) 施肥量 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる）
【肥料】大塚養液土耕5号（12-20-20、～収穫前）
大塚養液土耕2号（14-8-25、収穫開始～）
 - 8) 使用資材 ハイフミンハイブリッドG（微生物資材）：30kg/a、
アヅミン（Mg:3%）：3kg/a、あったかマルチ、白黒ダブルマルチ
※夏季の地温抑制のため、うねの肩部にあったかマルチの上から白黒ダブルマルチを展開（6月下旬～収穫終了日）。
 - 9) 収穫期間 令和5年5月上旬～7月下旬
 - 10) 保温 内カーテン：令和5年2月27日～令和5年5月下旬
 - 11) 加温 温風暖房機（12℃設定）：令和5年2月27日～令和5年5月上旬
 - 12) 摘心 令和5年5月下旬（8段程度）
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 5区（1区5株、1区制）
 - 2) 供試品種
 - <1> キャロル10 (株)サカタのタネ
 - <2> キャロルスター (株)サカタのタネ
 - <3> キャロルムーン (株)サカタのタネ
 - <4> C7-276 (株)サカタのタネ
 - <5> サンチェリーピュア (トキタ種苗(株))
- (4) 調査項目 生育、収量、糖度

施設野菜の部 No.7

項目：品種比較調査

調査名：ミニトマトの夏秋栽培における品種比較調査（継続：令和4年度～令和6年度）

1 目的 ミニトマトの夏秋栽培について品種比較調査をすることで、当地域に適した有望品種の選定を行う際の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス1号（132 m²：約40坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和5年2月28日（144穴トレイ）
 - 3) 移植月日 令和5年3月20日（12cmポット）
 - 4) 定植月日 令和5年4月13日
 - 5) 栽植距離 ベッド幅100cm、株間40cm、2条植え
 - 6) 定植株数 228株/棟
 - 7) 施肥量 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる）
【肥料】大塚養液土耕5号（12-20-20、～収穫前）
大塚養液土耕2号（14-8-25、収穫開始～）
 - 8) 使用資材 ハイフミンハイブリッドG（微生物資材）：30kg/a、
アヅミン（Mg:3%）：3kg/a、あったかマルチ、白黒ダブルマルチ
※夏季の地温抑制のため、うねの肩部にあったかマルチの上から白黒ダブルマルチを展開（6月下旬～収穫終了日）。
 - 9) 収穫期間 令和5年6月上旬～10月下旬
 - 10) 保温 内カーテン：定植日～令和5年5月下旬、9月中旬～収穫終了日
 - 11) 加温 温風暖房機（12℃設定）：定植日～令和5年5月上旬
 - 12) 摘心 令和5年9月中旬（20段程度）
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 8区（1区5株、1区制）
 - 2) 供試品種
 - <1> キャロル10 (株)サカタのタネ
 - <2> キャロルスター (株)サカタのタネ
 - <3> キャロルムーン (株)サカタのタネ
 - <4> C7-276 (株)サカタのタネ
 - <5> サンチェリーピュア (トキタ種苗(株))
 - <6> サマー千果 (タキイ種苗(株))
 - <7> アイラ (株)武蔵野種苗園
 - <8> T833 (みかど協和(株))
- (4) 調査項目 生育、収量、糖度

施設野菜の部 No.8

項目：品種比較調査

調査名：ミニトマトの抑制栽培における品種比較調査（継続：令和4年度～令和6年度）

1 目的 ミニトマトの抑制栽培について品種比較調査をすることで、当地域に適した有望品種の選定を行う際の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス2号（132 m²：約40坪）
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 養液土耕栽培
 - 2) は種月日 令和5年6月上旬（72穴トレイ）
 - 3) 定植月日 令和5年6月下旬
（前作の栽培中にその株間に定植）
 - 4) 栽植距離 ベッド幅100 cm、株間40 cm、2条植え
 - 5) 定植株数 228株/棟
 - 6) 施肥量 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる）
【肥料】大塚養液土耕5号（12-20-20、～収穫前）
大塚養液土耕2号（14-8-25、～収穫開始）
 - 7) 使用資材 あったかマルチ、白黒ダブルマルチ
※夏季の地温抑制のため、うねの肩部にあったかマルチの上から白黒ダブルマルチを展開（6月下旬～9月中旬）。
 - 8) 収穫期間 令和5年8月下旬～11月下旬
 - 9) 保温 内カーテン：9月中旬～収穫終了日
 - 10) 加温 温風暖房機（8℃設定）：11月上旬～収穫終了日
 - 11) 摘心 令和5年9月下旬（6段程度）
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 6区（1区5株、1区制）
 - 2) 供試品種
 - <1> キャロル10 (株)サカタのタネ
 - <2> キャロルスター (株)サカタのタネ
 - <3> キャロルムーン (株)サカタのタネ
 - <4> C7-276 (株)サカタのタネ
 - <5> サンチェリーピュア (トキタ種苗(株))
 - <6> T833 (みかど協和(株))
- (4) 調査項目 生育、収量、糖度